

(様式1-1 申請書)

6猪企第640号

令和7年1月9日

内閣総理大臣 殿

福島県耶麻郡猪苗代町字城南100番地

福島県耶麻郡猪苗代町長 二瓶 盛一

地域魅力向上・発信事業計画の提出について

福島再生加速化交付金（福島定住等緊急支援（地域魅力向上・発信支援））  
実施要綱第4の2の規定に基づき、地域魅力向上・発信事業計画（令和7年  
度）を提出します。

情報発信等戦略の期間																																																																							
令和4年度～令和7年度まで																																																																							
情報発信等戦略																																																																							
<p>① 情報発信の内容</p> <p>東日本大震災から13年が経過したものの、依然として根強い風評被害が残る中、ALPS処理水の処分方針決定により新たな風評が発生し、福島県産の農林水産物の価格や観光客数の回復の遅れなど、更なる影響を懸念する声が高まっている。</p> <p>このような風評を払拭するため、当町産農産物の安全性を広く周知するとともに、観光地である当町の魅力を発信する。</p> <p>② 猪苗代町の情報発信体制</p> <p>猪苗代町農林課（農林漁業）、商工観光課（商工観光業）</p> <p>③ 情報発信等の戦略目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○当町産農産物等のブランド化を行い、農産物等の産地としての魅力発信ができる体制を整える。</li> <li>○首都圏及び県外の観光地等において、販売促進グッズや観光パンフレット等を活用し、県外の消費者等に当町産農産物等の安全性や当町の魅力を発信し、当町産農産物等の購買意欲を促進する。</li> <li>○県外の流通事業者等に対して当町産農産物等を使用するように働きかけることで、更なる当町産農産物の魅力発信につなげる。</li> <li>○魅力ある農産物の生産地であることを広く周知し、地域外からの新規就農者を増加させる。</li> <li>○事業終了後も継続的に安全性及び魅力を発信し続けられるように体制を整える。</li> </ul> <p>④ 全体工程表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組</th> <th colspan="11">県外における情報発信</th> </tr> <tr> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SNS等を活用した情報発信</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>販売グッズの作成</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>首都圏等物産展への出展</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table>												取組	県外における情報発信											4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	SNS等を活用した情報発信												販売グッズの作成												首都圏等物産展への出展											
取組	県外における情報発信																																																																						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																												
SNS等を活用した情報発信																																																																							
販売グッズの作成																																																																							
首都圏等物産展への出展																																																																							

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
産地として発信する内容を固める。	発信する内容を様々な方法で発信する。	効果検証を行いながら、情報発信を強化する。	効果検証を行い、継続できる体制を検討する。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物等の認定制度を広く周知し、農産物等のブランド化を図り、販売単価を上げる。</li> <li>・ホームページや、農産物等ポータルサイトにより当町の魅力を発信する。</li> <li>・魅力ある農産物や加工品の産地であることを広く発信する。</li> <li>・当町産農産物等を取り扱う流通事業者等を増やし、販路拡大及び販売促進を図る。</li> <li>・当町についての意識調査等を実施し、事業内容の検証及び精査をするとともに、次年度以降の事業へ反映し効果的に実施できるように検討する。</li> </ul>			

(様式1-3)

## 408 猪苗代町 地域魅力向上・発信事業計画 令和5年度～令和7年度

令和7年1月9日時点

(単位：千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	事業 実施 主体	各年度の交付対象事業費(注3)					総交付対象事業費	全体事業 期間 (注4)	備考
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			その他(注5)
1	A - 1	猪苗代町産農産物等価値向上・発信事業	猪苗代町		(3,189)	(4,631)	(3,703)	3,463	(11,523)	R4 ~ R7	
				<0>	<3,189>	<4,631>	<3,703>	<3,463>	<14,986>		
2	-							(0)		~	
				<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>		
3	-							(0)		~	
				<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>		
4	-							(0)		~	
				<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>		
5	-							(0)		~	
				<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>		
			合 計	(0)	(3,189)	(4,631)	(3,703)	(0)	(11,523)		
				0	0	0	0	3,463	3,463		
				<0>	<3,189>	<4,631>	<3,703>	<3,463>	<14,986>		

(注1) 「事業番号」は、「(交付要綱別添1の番号) - (同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」となるよう記載する。

(注2) 「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3) 「各年度の交付対象事業費」は、**上段( )書きは前回までに配分された額**を記載し、**中段には今回申請する額**を記載する。なお、下段< >書き及び総交付対象事業費については、自動計算される。

(注4) 「全体事業期間」は、令和4年度以降に実施することが見込まれる事業については、令和4年度以降も含めて記載する。

(注5) 事業間流用を行った場合には、「備考」に事業間流用を行った旨、その時期及び額を記載する。なお事業間流用を行う場合には、流用する(流用される)事業名も合わせて記載する。

また、福島県については、実施要綱第4 6 - ⑤の一の市町村の区域を超える広域の情報発信等が見込まれる事業を地域区分1・2の市町村(複数市町村でも可)と実施する場合には、

「備考」に「市町村連携事業(調整した市町村名を列挙)」と記載する。

(様式 1 - 4)

408 猪苗代町 地域魅力向上・発信事業計画

令和 7 年度

令和7年1月9日時点

(単位：千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	事業 実施 主体	国費率 (a)	当該年度		備 考 (注4)
					交付対象事業費 (b) (注3)	うち交付金交付額 (c) =a×b	
1	A - 1	猪苗代町産農産物等価値向上・発信事業	猪苗代町	1/2	3,463 <3,463>	(0) 1,731 <1,731>	
2	-				<0>	(0) 0 <0>	
3	-				<0>	(0) 0 <0>	
4	-				<0>	(0) 0 <0>	
5	-				<0>	(0) 0 <0>	
				合計額	(0) 3,463 <3,463>	(0) 1,731 <1,731>	

(注1) 「事業番号」は、「(交付要綱別添1の番号) - (同一事業計画中の同種の事業の通し番号) となるよう記載する。

(注2) 「事業名」は、実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3) 上段 ( ) 書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段 < > 書きについては、自動計算される。

(注4) 福島県については、実施要綱第4 6 - ⑤の一の市町村名の区域を超える広域の情報発信等が見込まれる事業を地域区分1・2の市町村(複数市町村でも可)と実施する場合には、「備考」に「市町村連携事業(調整した市町村名を列挙)」と記載する。

(様式1-5)

猪苗代町 地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業 個票

令和7年1月9日時点

※本様式は1-3、1-4に記載した事業ごとに記載してください。

No.	1	事業名	猪苗代町産農産物等価値向上・発信事業	事業番号	A-1
事業実施主体		猪苗代町	総交付対象事業費		14,986千円
既配分額		11,523千円	当該年度交付対象事業費		3,463千円
経費区分ごとの費用					
一 地域の魅力向上・発信事業①情報					
①情報発信事業					
小計 3,463千円					
i) 風評動向調査 千円					
ii) 体験等企画実施 3,463千円					
iii) 情報発信コンテンツ作成 千円					
iv) ポータルサイト構築 千円					
②外部人材活用					
小計 千円					
i) 企画立案のための外部人材の活用 千円					
ii) 地域の語り部の育成 千円					
二 関連施設の改修					
地域の魅力発信事業と一体的に行うための関連施設の改修 千円					
風評の払拭に関する目標					
・ イベント等での意識調査において福島県猪苗代町の認知度 87%以上 (R6.11実施結果84.0%)					
・ 首都圏等でのブランド米“いなわしろ天のつづ”取扱店 5件以上 (R6.1現状3件)					
・ 本町が含まれる地域いずれかの米の相対取引価格(通年平均)における順位の上昇(全国12位以内若しくは全国平均の107%) (R5現状: 福島コシヒカリ 19位、101.2%)					
事業概要					
事業実施主体	猪苗代町				
主な企画内容	猪苗代町産農産物等の魅力を発信する県外イベントへの出展等				
主な事業の実施場所	東京都を中心とした関東圏				
事業の実施期間	令和5年度～令和7年度				
企画内容					
【現状・課題】					
<現状>					
東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故の影響等により、甚大な風評被害が発生しており、福島県産米の価格は震災前まで回復していない。農林水産省のwebページに残る統計開始の平成18年度以降、会津産コシヒカリ等の販売価格は上位に位置しており、平成22年時点で12位(全国平均の107.4%)であったが、震災以降は全国平均を下回るまで落ち込んでいた。現在は回復傾向ではあるが、令和5年度時点で19位(全国平均の101.2%)と震災以前の数値までの回復に至っていない。					
猪苗代町でも米の売上が農産物全体の約80%を占めており、重要農産物として対策を講じる必要がある。					

## <課題>

福島県産食材の買い控えは減少し、福島県のイメージは回復傾向にあるものの、根強い風評が残っている。福島県を知ってもらうとともに、安全で安心して食べられる農産物であることをPRし、消費者だけでなく流通業者等にも福島県産農産物の安全性を発信していく必要がある。

また、安全性だけでなく美味しさといった魅力についても併せて発信していく必要がある。

## 【課題に対するこれまでの取組と成果等】

### <課題に対するこれまでの取組>

#### ・令和5年度

会津夏まつり・17市町村トップセールス、ジャパンインターナショナルシーフードショー、大塚商人祭り、IKE・SUNPARKファーマーズマーケット、首都圏等商談会に参加し町内産農産物等のPR、販売を行い猪苗代町産農産物の魅力発信ができた。

#### ・令和6年度

会津夏まつり・17市町村トップセールス、ジャパンインターナショナルシーフードショー、大塚商人祭り、IKE・SUNPARKファーマーズマーケット、首都圏等商談会に参加し町内産農産物等のPR、販売を行い猪苗代町産農産物の魅力発信ができた。

### <これまでの取組における成果>

#### ・令和5年度

購入者へのアンケート結果で、猪苗代町の認知度が84.7%であった。

#### ・令和6年度

購入者へのアンケート結果で、猪苗代町の認知度が84.0%であった。

### <目標達成状況>

・購入者へのアンケート結果で、猪苗代町の認知度が79.5%であった。(R6町調査)

・首都圏での当町ブランド米いなわしろ天のつぶの取扱い店は3件であった。(R6町調査)

・本町が含まれる地域の米の相対取引価格(通年平均)の順位は19位であり、価格は全国平均の101.2%であった。(R6農林水産省調べ)

## 【今年度事業における具体的な取組内容】

### 1 県外における情報発信

首都圏及び県外の観光地等で開催される物産展や展示会・見本市等へ出展し、当町産農産物や加工品等(ブランド米やそば等の農産物及び特産品等)の安全性や魅力についてPRするとともに、サンプル品の配布や試食等を行い流通事業者や消費者等に情報を発信するため、以下のイベントを活用する。

当事業を実施したことにより当町の認知度は向上したものの、令和6年度においては前年度並みという結果となった。令和7年度事業においては更なる認知度向上を図るため、来場者の目を引くレイアウトとなるように工夫したブースとすることに加え、来場者の目に留まるPR用グッズやサンプル品を作成し各事業において活用する。

#### (1) 会津管内17市町村合同トップPR関連事業

開催時期：令和7年7月～9月頃

実施体制：主催 会津夏まつり実行委員会(会津よつば農業協同組合、会津17市町村)

後援 福島県

実施場所：東京都内

概算費用：373千円

事業内容：①会津17市町村の各市町村長等が一堂に会し、首都圏の米卸関係者や、青果・花き市場関係者、畜産関係者等へ会津産農産物等の魅力と安全な産地・農産物であることをPRする。令和6年度事業においては、豊洲市場において米卸関係者に対して生育状況の説明や生産に関する取組等の意見交換を行い、青果・花き市場関係者に対して品質や鮮度等の意見交換を行った。また、レセプションでは各関係者に会津産の米、野菜、牛肉等を使った料理を提供し会津産農産物等のPRを行った。令和7年度事業においては、市場関係者等へPRを行うため木・金曜日で実施したが、②の事業との相乗効果を高めるため、消費者が多く来場する金・土曜日とするように検討し実施する。

②会津17市町村等が一堂に会し、首都圏の青果売り場を有している大型量販店等において消費者向けに農産物の展示販売を行い、当町の認知度向上と会津産農産物等の魅力と安全な産地・農産物であることをPRする。令和6年度の事業においては、アーバンドックららぽーと豊洲で会津17市町村等の農産物等展示販売を行い会津産農産物等のPRを行った。金・土曜日の2日間2万5千人を超える来場者があった。令和7年度事業においては、①の事業との相乗効果及び集客力を高めるため、実施日程を消費者の来場が多い土・日曜日を中心とするほか、実施会場は青果売り場を有している大型量販店とするなど検討し実施する。

(2) ジャパン・インターナショナル・シーフードショー（すしwith日本食EXPO）

開催時期：令和7年8月下旬

実施体制：主催 猪苗代町

協力 会津よつば農業協同組合・猪苗代稲作部会

概算額：224千円

事業概要：東京ビッグサイトで開催予定の食品見本市のうち、「すしwith日本食EXPO」に参加し、安全で安心して食べられる米であることを記載したチラシやサンプル米の配布、試食等により本町ブランド米を寿司好適米としてアピールする。令和6年度は米不足により足を止める事業者が多かったが、寿司米として扱う事業者は少なかった。令和7年度事業においては、チラシの配布や試食等によりアピールのほか、視覚に訴えるため、農産物ポータルサイトや動画を活用し映像により寿司好適米をアピールする。

(3) 大塚商人まつり

開催時期：令和7年10月下旬

概算額：543千円

実施体制：主催 猪苗代町

協力 町内農産物生産者等

事業概要：町内の農業者や商工事業者と共に東京都の大塚駅前で開催される大塚商人まつりに出展し、新米、白菜、大根、キャベツ、ブドウなどの当町産農産物や漬物や豆菓子などの加工品等の展示、販売と併せて当町産農産物チラシや観光パンフレット等の配布を行い当町の認知度向上と当町産農産物等の魅力や安全性をPRする。大塚商人祭りは幅広い年齢層の来場者があるため、令和7年度事業においては、年齢層を問わず購入してもらえるように町内産農産物を使用した六次化商品の販売品を増やすとともに、令和7年度から運用を開始する当町の農産物ブランド認定品の農産物や加工品等を重点的に出展する。

(4) I K E・S U N P A R Kファーマーズマーケット

開催時期：令和7年5月～令和8年3月の間で3回程度

概算額：1,778千円

実施体制：主催 猪苗代町

協力 町内農産物生産者等

事業概要：町内の農業者や商工事業者と共に東京都豊島区のIKE・SUNPARK（としまみどりの防災公園）で毎週開催されるファーマーズマーケットへ出展し、アスパラガス（5～6月）、トマト（7～11月）、トウモロコシ（7～9月）長ネギ（11～12月）、白菜（11～12月）、新米（11～12月）など生産時期に合わせた当町産農産物や漬物や豆菓子などの加工品等の展示、販売と併せて当町産農産物チラシやサンプル米、観光パンフレット等の配布を行い当町の認知度向上と当町産農産物等の魅力や安全をPRする。令和7年度事業においては、過去の出展から公園利用者は子供連れの家族や若者が多い傾向にあるため、若者や子供連れ家族をメインのターゲット層として出展内容を検討し事業を実施する。また、令和7年度から当町の農産物ブランド品認定制度の運用を開始するため、ブランド認定の農産物や加工品等を重点的に出展する。

(5) PR・販売促進グッズの作成

実施体制：実施 猪苗代町

作成 受託業者

概算額：545千円

事業概要：首都圏及び県外の観光地等で開催される物産展や展示会・見本市等へ出展し認知度を向上させ、当町産農産物や加工品等（ブランド米やそば等の農産物及び特産品等）の安全性や魅力についてPRしているが、当町の認知度は前年度並みという結果となった。令和7年度事業においては、更なる認知度向上を図り当町産農産物等の安全性や魅力をPRするため、エコバックなどの来場者の目に留まるPR・販売促進グッズを作成し、今年度事業において活用する。なお、グッズへは地域情報発信交付金事業を活用した事業である旨を記載する。

【今年度事業における目標】

<アウトプット>

- ・会津管内17市町村合同トップPR関連事業：パンフレット、PR・販売促進グッズ等の配布200人以上
- ・ジャパン・インターナショナル・シーフードショー：試食800人以上
- ・大塚商人まつり：パンフレット、PR・販売促進グッズ等の配布200人以上
- ・IKE・SUNPARKファーマーズマーケット：パンフレット、PR・販売促進グッズ等の配布600人以上（各回200人以上）
- ・PR・販売促進グッズの作成：PR・販売促進グッズ等の配布1,000人以上

<アウトカム>

- ・物産展等でのアンケート調査における当町の認知度 87%以上。
- ・物産展等でのアンケート調査における当町への来訪者 60%以上

【今年度、事業の実施により得られる効果】

- ・首都圏等で開催される物産展等へ出展することで、消費者に対して当町及び当町産農産物等の魅力を効果的にPRすることができ、当町の認知度向上及び風評払拭が図られる。
- ・トップセールスや展示会、見本市等へ出展することで、市場関係者や流通事業者等に対して当町及び当町産農産物等の魅力を効果的にPRすることができ、当町の認知度向上及び風評払拭により販売促進、販路拡大が図られる。
- ・継続して当事業に取り組み当町農産物の魅力を発信することで、当町ブランドの定着が図られ販売促進が図られる。